

第 8 回国立国会図書館契約等監視委員会議事概要

開催日及び形式	令和 2 年 12 月 3 日（木）14 時～16 時 Web 会議システムによるオンライン開催	
委員長及び委員	委員長 山本 清（鎌倉女子大学学術研究所教授） 委員 石田 晴美（文教大学経営学部教授、公認会計士） 委員 稲垣 隆一（弁護士） 委員 布施 伸枝（公認会計士）	
審議対象契約期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日	
指名停止の運用状況	指名停止なし	
抽出案件（件）	5	（備考） 案件総数 253 件
競争入札（工事）		<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約 件 名： 関西館非常用発電機設備整備工事 ・ 契約相手方： ダイハツディーゼル株式会社 ・ 契約 金 額： 68,200,000 円 ・ 契約締結日： 令和元年 10 月 1 日 ・ 担 当 部 局： 関西館総務課
競争入札（物品役務）		<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約 件 名： 新聞資料のマイクロフィルムの作製 ・ 契約相手方： 株式会社ニチマイ ・ 契約 金 額： 33.70 円等 2 点（単価契約： 37,586,916 円） ・ 契約締結日： 平成 31 年 4 月 1 日 ・ 担 当 部 局： 総務部会計課
競争入札（物品役務）		<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約 件 名： 電話交換機等設備保守 ・ 契約相手方： グランド・システム・コンサルタンツ株式会社 ・ 契約 金 額： 1,270,080 円 ・ 契約締結日： 平成 31 年 4 月 1 日 ・ 担 当 部 局： 総務部会計課
競争入札（物品役務）		<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約 件 名： 国立国会図書館国会関連システムのリニューアル作業 1 式 ・ 契約相手方： 株式会社ビッグツリーテクノロジー&コンサルティング ・ 契約 金 額： 169,560,000 円 ・ 契約締結日： 平成 31 年 4 月 1 日 ・ 担 当 部 局： 総務部会計課
随意契約（物品役務）		<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約 件 名： 情報探索サービスシステムの保守 1 式 ・ 契約相手方： 株式会社ビッグツリーテクノロジー&コンサルティング ・ 契約 金 額： 106,920,000 円 ・ 契約締結日： 平成 31 年 4 月 1 日 ・ 担 当 部 局： 総務部会計課
館長指定案件	令和元年度一般会計監査報告	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告	なし	

別紙

主な意見・質問	回答等
【関西館非常用発電機設備整備工事】	
<ul style="list-style-type: none"> ・一者応札となった理由は何か。 ・複数業者の応札を促す努力を行っているか。 ・予定価格の積算はどのように行っているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・非常用発電機としては一般的な仕様であり、使用部品も市場に供給されているものの、工事可能な業者数が限定されることが一因と考えられる。 ・年初の発注予定公表、十分な公告期間の確保等を行っている。新規業者の参入促進に努めたい。 ・徴取した見積りに、過去の落札実績等を踏まえて設定した査定率を乗じて積算している。
【新聞資料のマイクロフィルムの作製】	
<ul style="list-style-type: none"> ・一者応札となった理由は何か。 ・マイクロフィルムを作製できる企業数は限られ、競争原理が働きにくい。DX及び利用者の利便性向上の観点から、電子データで保存することを検討頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書の要件は、一般的なものであるが、年間を通して必要な作業体制を整えることが難しいと聞いている。 ・ご指摘の点、検討中である。
【電話交換機等設備保守】	
<ul style="list-style-type: none"> ・一者応札となった理由は何か。 ・複数年度にわたり落札率が低いのであれば、予定価格が適切かどうか見直すようにしてはどうか。競争性の有無を館として責任を持って判断しやすいように、認定フローや要件なりを検討してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・過年度は二者応札であったが、近年は一者応札が続いている。 ・受注可能な業者が複数あることは確認しているため、参入促進に努めたい。
【国立国会図書館国会関連システムのリニューアル作業 1式】	
<ul style="list-style-type: none"> ・一者応札となった理由は何か。参入障壁となるようなシステム設計となっていないか。 ・適切な競争環境を作っていくためには、事業者を育て、供給側を多様化して市場を確保していくといった視点も大事だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・納品成果物を公開するなど、どの事業者でも作業が可能となっている。評価項目、基準等についても複数の視点で検討している。 ・参加者数が限定された一因に、システム業界における人手不足があると考える。
【情報探索サービスシステムの保守 1式】	
<ul style="list-style-type: none"> ・不落となった理由は何か。 ・一者応札となるような参入障壁はあるのか。 ・複数業者の応札を促す努力を行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保守作業に加えて、翌年のシステム移行作業も調達していたため、他社開発のシステムを引継ぐリスクが一因となり、参加者が限定されたと考える。 ・過去には別な業者が受注しており、技術的には、他社でもできる内容である。競争が発生しないとまでは言えない。